



平成 25 年 9 月 12 日

各 位

会社名 森下仁丹株式会社  
代表者名 代表取締役 社長 駒村 純一  
(コード番号 4524 東証第 2 部)  
問合せ先 取締役常務執行役員 武貞 文隆  
電話番号 06-6761-1131

農林水産省「平成 25 年度 緑と水の環境技術革命プロジェクト事業」の採択についてのお知らせ  
～ザクロの新たな機能性研究および栽培条件等の検討～

森下仁丹株式会社（本社：大阪市中央区／代表取締役社長：駒村純一）は、当社の新独自素材であります“ザクロ”の新たな機能性研究および栽培条件等の検討に対し、農林水産省の補助事業「緑と水の環境技術革命プロジェクト事業」に採択されましたのでお知らせします。

ザクロ（柘榴）は、日本人には古くから親しみのある果実ですが、その栽培や機能性に関する研究が充分になされておらず、商業的生産も含めた利用が未開拓の素材です。当社では、このザクロに注目し、その様々な機能を探索した結果、タンパク質の糖による変性を抑制する抗糖化作用、ビフィズス菌の生存を維持させるプレバイオ作用、抗アレルギー作用、そして、長寿遺伝子として知られるサーチュイン遺伝子活性化作用などを明らかにし、有用性研究を進めております。

本事業（事業化実証）では機能性研究を進め、ザクロ特有の機能性ポリフェノール成分研究、ヒトでの機能性評価、量産検討などを通じて早期商品化を目指します。さらに栽培条件の情報収集等も行い、生産者への適切な栽培方法や有望な品種の情報を提供し、ザクロの機能性を利用した商品化を通じて、日本国内でのザクロの産地化・商業化への貢献も目指して参ります。

当社では、長年に亘る生薬研究の成果として、安全性の情報と科学的エビデンスを備えた独自の機能性素材を保有し、自社製品への活用や素材供給を行なっております。

なお、本件の本年度業績への影響は軽微であり、本年度の業績予想に変更はありません。

**【 概 要 】**

事業名： 平成 25 年度農山漁村 6 次産業化対策事業  
緑と水の環境技術革命プロジェクト事業（新技術の事業化実証）  
課題名： ザクロの新たな機能性研究および栽培条件等の検討  
期 間： 平成 25 年 8 月 30 日～平成 26 年 3 月 31 日  
事業者： 森下仁丹株式会社